

県南思考 Vol.18

特集：市民の力で地域の防犯

子どもを巻きこんだ交通事故、不審者による空き巣、振り込め詐欺。ひとむかし前は鍵などかけずに平気で外出できた南房総一帯でも、都市型の犯罪が多発するようになりました。とくに、観光が地域産業の大きな柱のひとつであるため、四季を通じて多くの観光客が訪れる結果的に、事故や偶発的な犯罪を発生させるケースも報告されています。そうした犯罪の発生を未然に防ぎ、安全に暮らすための抑止力になればと、各地で市民ボランティアによる多彩な防犯活動が行われています。



特集：市民の力で地域の防犯

結びの対論

三沢県議×木下県議×亀田県議

日々の安全を脅かすものに対しては、
地域のコミュニティーカーを生かし
皆で防いでいく姿勢が必要ですね。

木下 わたしたちが子どもの頃は、鍵をかけて出かける家なんて近所には、めったにありませんでしたね。

亀田 鴨川だってそうです。どこも開け放して、こちらも勝手に人の家に「いる？」なんて言いながら入っていく。

三沢 となり近所、みな知った顔でしたから、逆に言うと見かけない顔が通ると、すぐにわかるんですね。

木下 いまでも、近所の買物ぐらいだったら玄関の鍵なんかかけませんし、クルマだって、貴重品やカバンこそ持ち出しますが、ロックなんしたことありませんでした。最近になって、当局からの指導を受けて、ようやくロックするようになりましたが。

亀田 今日、各地で市民ボランティアによる活動を見てきたわけですが、登下校の見守り、振込詐欺、不審者への警戒など、多彩な活動をされていた。逆に言うと、こうした活動が必要なほど、南房総も変わってきたということですね。

木下 新しい人たちが入ってきており、現にわたしの住む地域では半分が別荘ですから、ふだんほとんど接点がない。

亀田 市民の防犯パトロールでむずかしいのは、どこまで市民がかかわれるのか。また、ある事案が犯罪になるのかならないのか、その線引きもむずかしい。

三沢 ひとつ例をあげましょうか。昨年から館山の海水浴場には臨時交番ができる、海岸でのバーベキューや自動車の乗り入れが禁止になったんですが、同時に、タトゥーの露出も禁止事項になったんです。

木下 これは文化の違いもあって、日本では昔からタトゥー、刺青といえば、どうしてもヤクザ、暴力団といったイメージが強かつたわけですが、外国人にとってはファッショングにすぎない。現に、先日、フィラデルフィアから学習旅行で学生がたくさん来ましたが、半数近くが、なんらかの形で入れていた。

亀田 このところ来日する外国人旅行客が急増し、2020年のオリンピック開催時には政府目標として4000万人をめざすとも発表されています。数だけでなく、さまざまな国から迎えることを考えると、あらためて皆で考えていく必要がありますね。

木下 むずかしいといえば、館山警察での話にも出ましたが高齢者の交通事故は頭がいたい問題です。先日も一件あって、70代の運転するクルマが、80代の方をはねてしまった。

三沢 年を重ねると反射神経や運動神経など衰えてくるのはわかっていても、公的な交通機関が少ないためクルマがなければ日常生活が成り立っていない。むずかしい問題です。

木下 敬二（きした けいじ）

南房総市・安房郡選出
昭和 23年 5月 17日生まれ



事務所 /
〒295-0005 南房総市千倉町牧田 164-1
TEL:0470-44-4111 FAX:0470-44-4112
<http://kishitakeiji.com/>
e-mail : info@kishitakeiji.com

亀田 郁夫（かめだいくお）

鴨川市選出
昭和 27年 2月 16日生まれ



事務所 /
〒296-0041 鴨川市東町 665
TEL:04-7099-0190 FAX:04-7099-0191
<http://www.kameda190.com/>
e-mail : ikuo-k@leaf.ocn.ne.jp

三沢 智（みさわさとし）

館山市選出
昭和 29年 11月 14日生まれ



事務所 /
〒294-0037 館山市長須賀 470-1
TEL:0470-22-3051 FAX:0470-22-3052
<http://misawa-satoshi.com/>
e-mail : office@misawa-satoshi.com



市民ボランティアの活動

亀田 それでも、市民ボランティアの皆さんには頭がさがりますね。それぞれ自分の仕事を終えた後で地域のために活動されている。

木下 すっかり暮らしにとけこんでいるので、当たり前に考えがちですが、年の瀬の木枯らしが吹く夜など、こちらが暖かい部屋でテレビなんか見ているときに窓の外で「火の用心」と声をかけながらパトロールの方が通ると、しみじみとありがたく思いますよ。

亀田 自分の暮らししさえよければいいという考え方ではなくて、地域のため、みんなのためという考え方。

木下 やはりそこは、房州人というか、南房総に住む人たちの気質なんですよ。見ていると、誰ひとり、いやいや参加している方がいない。子や孫、あるいは地域のために、気持ちよく活動されている。

三沢 館山の防犯活動は区長会や老人会、PTAが一緒になって活動している。それが足りないところを補いあって、PTAはお年寄りよりの活動をする。一方で、老人会は昼間は時間がありますから、子どもたちのために見回りをしましょうと、お互いに補完して活動している。

亀田 地域のコミュニケーションに、どれほどプラスになっているか、はかりませんね。これはパトロールではありませんが、鴨川市の大浦では子ども達が登下校する際、近所の人に会うとかならず大きな声で「おはようございます」「こんにちは」と挨拶する。これは学校でそのように指導しているんです。

木下 そうした活動をしていけば、自然と大人になっても顔見知りになって、地域に住んでいるのに言葉も交わさないなどといったことがなくなるでしょう。

亀田 コミュニティーとしての連携を強化し、日頃から親密度を高めていけば、例えば大きな災害などが発生したときに、自然と助け合っていけるのではないかでしょうか。

三沢 子どもたちが卒業する際には、登下校でお世話をしたボランティアの方々に対して、「ありがとうございました」など感謝状を贈り、そのことは、みなさんの生きがい、やりがいになっています。

木下 安全で安心な生活を市民の方々は望んでいる。私たち県議員の大きな命題もそこにあるわけです。市民の暮らしを脅かすものに対して、地域のコミュニティーカーを生かして皆で守っていくことが大切で、これからも県議員として、しっかりとリーダーシップを取りたいですね。

県南思考 Vol.18

発行：2016年8月20日
制作：「県南思考」制作委員会
編集：式守編集工房
デザイン：野村友紀

南の風を県政に。南房総選出の県議による「県南思考」は市民の皆さんと共に県南のあるべき姿を追い求めていきます。本誌をお読みになった感想、ご要望、その他ご意見は各県議の事務所までお気軽にお寄せください。



特集：市民の力で地域の防犯

誰もが安心して暮らせる南房総地域。
それを実現するのは、
市民ひとりひとりの安全を願う心。

館山市の船形小学校。授業を終えた生徒たちが下校していきます。

正門前の横断歩道で誘導するのは「船形地区・子ども見守り隊」の皆さん。そろいの「スクールサポーター・ベスト」を身につけ、黄色い旗を手に安全を確認しています。

地域のPTA、老人会などからなる市民ボランティアで、メンバーはおよそ20名。平成18年に発足しました。

「交通量の多い県道を渡りますので下校時



住宅地の随所に立って登下校の生徒たちを見守る船形子ども見守り隊の皆さん

こまれることがないよう見守っています」

増加する防犯ボランティア

警察庁が発表したデータによると、いま全国で市民による自主的な防犯ボランティアを行っているグループは、団体数で48,060、参加者数で2,758,659名にのぼっています(2015年12月末現在)。

2003年末に調査した時は団体が3,056団体、人数にして177,831名だったことをみると、この間に、10倍以上に拡大したことになります。

その背景には、残念ながら日本全体の治安の悪化が考えられます。

とくに抵抗力の少ない子どもに対する犯罪が頻発したため、同じ生活圏内で日常生活を送る市民の力で、なんとか犯罪を未然に防ごうという思いが高まってき



たのが、各地でこうした防犯ボランティアが増えてきた背景と考えられます。

南房総地域でも活動は活発で、館山市では「防犯協力会」を設置。



これは市内を10地区に分け、それぞれ日々決めて地域内をパトロールしているもので、「那古と



船形の場合は毎月第一と第三の土曜日、仕事を終えて夜の8時に集合し、帽子、腕章を身につけ、防犯と書いた提灯を下げ2班に別れてパトロールを開始します」

火の用心、戸じまりなどを訴えるだけでなく、無灯火の自転車や、リードをつけずに犬を散歩させている飼い主に注意をうながすなど、きめ細かく地域を巡回。

駐在所の警察官も同行するため、いざというときには迅速、正確に対応。また、住民との連携強化に効果を上げています。

「パトロールは夏休みに入れば回数を増やしますし、年末はほぼ連日行います。祭りの時がまた大変で、ハメを外したり、お神酒が入って道路に寝込んでしまった人に、危ないですよと声をかけたりするんです」

青パトの巡回も行われています。

青パトとは、正式には防犯パトロール車のこと。

「いま館山市では2台の青パトを所有しているんですが、各地の要請に応じて活用いただいている。なんといっても警察車両と外観が似ていますので、犯罪の抑止力として効果は大きいと考えています(館山市社会安全課 栗原章氏)」



講習を受けたメンバーがハンドルを握り青パトに乗つて町内をパトロール

講習を受けた「防犯協力会」のメンバーが乗車し、昼間は交通安全、夜間は防犯をメインにパトロールを行い、搭載されたスピーカーを使っていわゆる「振り込め詐欺」の防止を訴えるなど、市民に対するPR活動を繰り返しています。

鴨川市民による防犯ボランティア

深海を回游することの多い鯛が水面近くで群遊するめずらしい景色で国の特別天然記念物にも指定されている安房小湊の「鯛ノ浦」。

そのほど近く、鴨川市の安房天津でも市民ボランティアによる「天津防犯パトロール鯛」が活発に活動しています。

ふだんは下校する小学生たちを見守り、夏休みに入れば海岸パトロールを実施。



平成14年に発足した「天津防犯パトロール鯛」。十数名で活動中

小中学校の教職員や、PTA、青少年相談員、市の消防防災課、さらには警察官も参加してチームが結成され、外で遅くまであそぶ子どもたちを指導し、午後9時以降は花火は控えてもらうよう呼びかけるなど、季節や観光地ならでの特性に応じて、きめ細く対応しています。

このように各地で、日々行われている市民ボランティアによる防犯活動。

「大雨や台風の時は中止しますが、小雨ぐらいだったら決行します。冬の寒さなど苦労は少なくありませんが、地域の皆さんのお役になっているのではないかと、そんな思いが支えています」

と、どの地区的ボランティアの方々も声を揃えます。

現実に館山市では、不審火や空き巣も減って、事故や犯罪を未然に防ぐ、その抑止力としての効果は実証済み。

「やはり、市民の方からありがとうございます、ご苦労さまと声をかけられるのが一番うれしいですね」

夜間でも安全に歩行できるよう街路灯を整備する。子どもたちが安心して登下校できるよう横断歩道や信号、通学路を整備するなど、設備や生活環境を整えることも重要ですが、それ以上に大切なのは、市民が力を合わせて犯罪や事故を防

TOPICS

南房総の防犯灯LED化計画

市民の安全、安心に直結する防犯灯。南房総市では平成26年、市内の観光灯と防犯灯を合わせて7700本を、すべてLED電球に変更しました。リース契約にしたため、保守管理費用が大幅に軽減。電気料金も従来およそ4000万円かかっていたものが約1400万円へと激減(年間)し、CO2排出量も約60%削減されるなど、環境に優しくてもやさしいシステムが実現しています。



LED化の効果を語る南房総市/市民生活部の(左から)石川和也課長補佐、高梨真一課長、本橋清一部長

いでいくこうとする意欲。

安全を願う強い気持ちが犯罪を防ぐ最も有効な対策であることには間違いないようです。

Pin Point



インタビュー

館山警察署におたずねします。

各地で活発に行われている市民ボランティアによる防犯活動。警察の立場から見た活動成果などを館山警察署でうかがいました。



市民ボランティアの犯罪抑止力について語る(左から)亀田県議、館山警察署/齋藤成司生活安全課長、三沢県議、木下県議

まず館山署における 最近の犯罪傾向を教えてください

館山警察署管内での犯罪件数は、最新のデータ(本年7月1日現在)で304件。前年から37件減少しています。いわゆる振り込め詐欺、千葉県警察では「電話de詐欺」と呼称を統一していますが、その件数も昨年の同時期8件から3件へと減少。これには、市内のお年寄りのご家庭を個別に訪問して「宣言書」やチラシを配布して注意をうながし、また金融機関にも協力いただいて、高額を引き下ろそうとした場合は、ひととこと相談してもらうようにするなど、地道な活動が効果を上げたのではないかと分析しています。その一方で、増えているのが車上狙いと高齢者による交通事故。交通事故の場合は加害者も被害者も共にお年寄りという、つらいケースが増えています。また、お年寄りによる万引きも増加しています。

夏休みに入って海水浴場など 今年も観光客でにぎわいましたが

海水浴のシーズンを前に昨年から海岸に臨時

交番を設置し、同時に制服警官によるパトロールを強化しました。館山市の条例では、刺青などは、シャツ等で隠さないと遊泳を認めないとになっており、また、海岸でのバーベキュー、遊泳区域内への水上オートバイの乗り入れ、砂浜への自動車の乗り入れが禁止になっており、それを知らない観光客には注意をうながしています。この条例は周辺の市にも波及し、同様の条例が制定されています。さいわい空き巣などの侵入盗犯は減っていますが、館山道の開通によって県外からの流入も増え、犯罪を犯してそのまま車で逃走というケースも増えています。別荘なども多い地域ですので、警戒を続けています。

市民ボランティアによる防犯活動が 南房総各地で盛んですが

これに対しては、警察としてはただただ、ありがたく頭がさがる思いです。都会と違って非常に広いエリアをたったひとりの駐在所の巡回が担当しているケースも少なくありません。市民の方が自発的に防犯活動をしてくださるわけで、警察としては百万の味方を得た思いで

館山警察署 / 管内の犯罪発生状況

(同署のWebサイトより)

種類	内容	27年6月末	前年同期比
凶悪犯	殺人、強盗、放火など	1	+0
粗暴犯	暴行、傷害、脅迫、恐喝など	19	-2
窃盗犯	窃盗	242	-32
知能犯	詐欺、横領など	17	+11
風俗犯	賭博、猥褻など	2	-1
その他		60	-12
合 計		341	-40